

# 進路講演会報告

題字：2年5組 松本萌華



第3学年進路講演会のようす  
(天草市民センター)

生徒の進路を実現させるために、保護者も子どもと共に学び、学校の教育活動を支援する必要があります。この内容を各学年の学年委員長に報告していただきます。



第3学年委員長  
佐藤 貴憲

6月30日(火)、天草市民センターにおいて、第3学年進路講演会「天高夏チャレンジ2015」が開催されました。

(株)ベネッセコーポレーション谷本雄一郎様を迎え、雨の中、平日の昼間でしたが、3年生の生徒と多数の保護者の方の参加がありました。

まず本校の先生方より話があり、その後谷本様より『希望進路実現に向けて』の題名で90分講演いただきました。

近年の入試を取り巻く環境や傾向、昔は無かった情報などがあり、やみくもに「勉強しろ」ではないんだと、私たちが勉強になりました。

センター試験200日前のこの日、講演を聞いた生徒たちは、受験競争の真つただ中なのだと改めて痛感したのではないかと思います。

いずれは皆、厳しい社会に出て行きます。3年生においては残り少ない時間を有意義に使い、将来のビジョンをしっかりと親子で話し合い、目標に向かって頑張ってください。



第2学年委員長  
長野 博

9月12日(土)に第2学年の進路講演会及び科目選択説明会が、生徒と保護者を対象に天高体育館で行われました。北九州予備校の大山純治先生をお招きして、「キラリ輝く☆ダイヤモンドをめざそう」と題して講演を頂きました。

講演会では初めにこれまでの高校生活を振り返り自分達の現状を診断して最後は、「さあ、勉強を始めよう」とやる気が出るようなお話をされました。中でも同じ時間勉強しても、



集中力の差が学力の差になり、集中力を高めるには勉強する時の姿勢が大切であるという話や不得意教科には北予備秘伝の「予習↓授業↓復習↓復習↓復習↓覚え込み」という復習中心の勉強法の話など、生徒も保護者も大変参考になる講演会でした。

また、科目選択説明会では、各大学の入試科目を保護者も資料を使って調べ、受験を身近に感じて気持ちが引き締まる思いでした。

天高生たちには、これからの目標に向かって努力を続け、それぞれの進路実現を果たして欲しいと思います。



第1学年委員長  
原田富美代

10月3日の土曜日、本校体育館にて、進路講演会が開催されました。

大学教授として活躍されている先輩から、大学での研究及び学問の意義、高校時代の話を聞くことを通じて、自らの進路を考える糧とするのを目的として、本校を1975年に卒業され、現在は大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授の松野明久先生を講師に迎えて、「小さな国の大きな戦争〜東ティモールの紛争から学んだこと」を演題にご講演いただきました。

世界の国では、今の日本では考えられないようなことが、起こっており、講師の先生も国連の一員で参加して、生命の危険にさらされる状態を体験したことなど話されたことが印象的でした。本校の卒業生にこのような方がおられ、話を聞いたのは、生徒たちにとって、これからの自分の将来を見つめる良い機会になったのではないのでしょうか。これからの進路に向けて充実した高校生活を送り、目標に向かって頑張ってください。

世界では、今の日本では考えられないようなことが、起こっており、講師の先生も国連の一員で参加して、生命の危険にさらされる状態を体験したことなど話されたことが印象的でした。本校の卒業生にこのような方がおられ、話を聞いたのは、生徒たちにとって、これからの自分の将来を見つめる良い機会になったのではないのでしょうか。これからの進路に向けて充実した高校生活を送り、目標に向かって頑張ってください。

## 研修会参加報告 I

### 第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会

日時 平成27年8月19日(水)・20日(木)・21日(金)  
会場 岩手県盛岡市、滝沢市



総務委員長  
金田 義延

『未来圏からの風をつかめ!』新時代を担う君たちと共に!』をテーマに開催され、全国のPTA会員の方が集い1万人という規模に鶴田会長、前田校長と3人で参加しました。

芝浦工業大学学長の村上雅人氏による『夢高くして足地にあり The sky is the limit』あなたの可能性は宇宙に続く空のように無限大である』と基調講演がありました。

その内容は、「昨日の夢は、今日の希望となり、そして明日の現実となる。賛は求めず、そして志は高く。人生において最上で、最も美しいものは目で見ることができない手で触れることもできません。それは、心の中で感じるしかないのです。」などです。



岩手産業文化センター「アピオ」にて

生活し食べていけない。しかし、日本の発展にとって若い人たちが、夢と希望を持ち志を抱くことが大切でありこれからの育友会活動で応援していきたいと思えます。

## 研修会参加報告 II

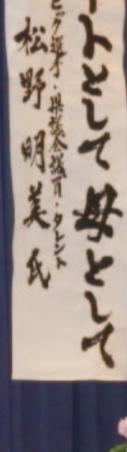
### 天草地区高等学校PTA指導者研修会

日時 平成27年11月8日(日)  
会場 芥明高校



副会長  
荒木 広之

松野明美さんの講演は、生徒も一緒に聴講し、人の何倍も努力をしてオリンピックに出場した事、スポーツマンシップの有り様、後半は、自



松野明美さんの講演

分の子育てを通じ、人とは違った条件での葛藤の中で気づいた、子どもの命の大切さ、親の役割、信念を伝えてもらいました。最後に、生徒達に向けて、「いろんな事に挑戦し、いっぱい失敗をして、いろんな事を味わって下さい。」「頑張った人には勝てない。頑張る時期は必ず来ない。」「そして恩返しをして欲しい。」と訴えられました。

天草工業高校育友会では、「親と子のメッセージカードプロジェクト」で日頃面と向かって言えない気持ちを、カードに託して伝える活動を実施。クラス別の育友会ミニバレー大会の開催と共に評価を得ていました。

天草工業高校育友会では、「親と子のメッセージカードプロジェクト」で日頃面と向かって言えない気持ちを、カードに託して伝える活動を実施。クラス別の育友会ミニバレー大会の開催と共に評価を得ていました。

## 育友会がちのお知らせ



危険なルール違反は、自転車運転者講習を受けることとなります。



健全育成委員長  
坂本 満也

携帯電話を使用しながら無灯火で自転車を運転していた女子高校生(当時16歳)が、女性(当時54歳)に衝突。女性は転倒し、首などを強打。後遺症が残り歩行困難となり職を失っている。この事故で、衝突された女性が、女子高校生に損害賠償を求めた民事訴訟で、横浜地裁は、5000万円の賠償命令を出しました。

自転車事故による賠償責任も年々高額化の傾向にあります。また、道路交通法が改正され、自転車も信号無視・通行禁止違反・酒酔い運転などの14種の危険行為で3年以内に2回以上検挙された場合は、講習(3時間5700円)を受講しなければならなくなりました。

自転車は、通勤、通学、買物など生活に密着した乗り物ですが、自転車事故の多発、一部の危険な運転等が社会問題となっております。そこで、交通ルール習得や点検整備といった利用者が守るべき事項を厳守し、安全で適正な利用を社会全体で促進しましょう。



安全運転のポイント  
歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行運転し  
安全ルールを守りましょう。



育友会会長  
鶴田 博道

育友会では、生徒会と合同事業として、毎月「あいさつ運動」と、年2回の「懇談会」を実施しています。活動の様子を紹介します。

「おはようございます。今日も笑顔で元気いっぱいあいさつを交わし学校生活をスタートしましょう。」と生徒会長のこぼれ話が始まります。

正門、天神門に配置し生徒会から明るく「おはようございます」と挨拶します。登校のピークである7時10分頃は、お互いのあいさつが途切れることはありません。

全ての生徒と元気よくあいさつを交わせる訳ではありませんが、「おはよう」という言葉の力で心を通わせ、楽しい学校生活を送れるよう、今後も毎月二日間運動を展開していきます。

■生徒会との懇談会(1回目7月30日)  
より良い学校生活を送るため、生徒会の立場、育友会の立場で意見交換を行いました。共に活動する「あいさつ運動」については、あいさつは社会人になっても必要、人として当たり前、家庭で身に付けるべきこと等を議論し、運動では、笑顔で元気を発信しようとして申し合わせました。

社会的にも大きな問題となっている「スマホ」についても素直に意見を交換し、自転車の乗り方を含めて、生徒が安全に安心して学校生活を送れるよう協議しました。

生徒からは、天草の事もっと知りたいという話から話題が広がり、素直な意見交換を多く行うことができ、育友会としても楽しい懇談会となりました。

また、文化祭やマラソン大会への要望等もあり、生徒が頑張っている姿を精一杯応援することを約束しました。



私ごとですが、先日、フルマラソンに初挑戦しました。持病の膝痛が心配で、出場するかどうか悩んだ末、完走を目標に天草マラソンに出場しました。半年間練習を積んだおかげで、膝痛もひどくならず完走することができ、打上げでは美味しいお酒も飲みました。

困難だと思っても、やってみれば大したことないし、やった方が断然面白い!と言うことを42歳のおじさんが再認識しました。やるか? やらないか? 「やっちゃえ天高生!」文化広報委員長 宮本 諭